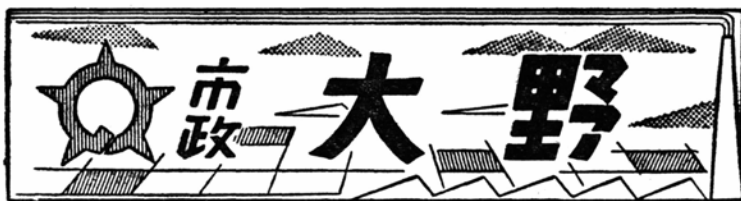


発 行
福井県大野市役所
(企画室広報係)
電話(代)6-1111
郵便番号-9 1 2
印刷 松浦印刷所



11月の人口の動き

出生	男 24	女 23	計 47
死亡	男 14	女 10	計 24
転入	男 45	女 42	計 87
転出	男 81	女 85	計 166
世帯数	9,878		
人口	43,475		
男	20,866		女 22,609

工場誘致の努力みのる

日本コンデ
ンサ工業 1月から操業開始



日本コンデンサ工業(本社京都市、資本金 10億2,800万円)が大野に進出することになりました。下丁の国道 158号線沿いの敷地 1万1,550㎡に、3億円の資本を投じて 2,600㎡の工場を建設します。

大野工場ではテレビ、ラジオ用の電解コンデンサー(蓄電器)を生産し、月産目標は当初 2億円ですが、将来は2億5千万円に引き上げられる計画です。

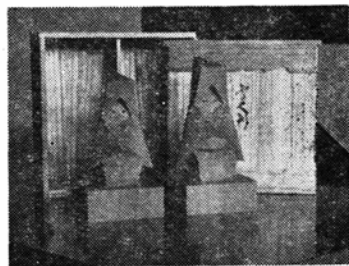
とりあえず、市内2カ所の仮工場で1

70%近い(43年は81%)市外就職者を出し、ながら若年層の市外流出に悩んできた当市にとって朗報といえましょう。

誘致に際して、一時は地元産業の不安を招くとして問題になりましたが、市・日本コンデンサ工業・地元産業の代表者との話し合いの結果、合意に達し、円満な解決をみました。

(写真 市と日本コンデンサ工業による協定書の調印式 市役所にて)

月から操業を開始しますが、本工場の建設は来春の雪どけを待って取りかかり、5月には完成して本格的な操業にはいります。従業員は 500人(男200人、女300人)が予定され、ほとんど地元で雇用されます。このことは、地元で高校卒業生の適当な就職先が少なく、毎年



「雪人形」を陛下に献上

市では福井国体のさい、両陛下が市へ行幸啓になったのを記念して、11月2日県を通じて郷土民芸品「雪人形」を、両陛下に献上しました。

カツラの木を手彫りにした素材なわらべ人形で、作は前田芳雲氏です。

(写真は献上された「雪人形」)

天皇杯の巡回展示

福井国体は天皇杯獲得の偉業をなしましたが、大成功のうちに終了しましたが、この栄誉を県民ひとしくわかちあうため、県国体部が実施した天皇杯の巡回展示が、10月29日市役所大会議室で行なわれました。

種目別優勝のトロフィー、選手着用のユニフォームなど数十点が展示されましたが、なかでも天皇杯と、きよ火最終ランナー辻野直子さんが開会式当日使用したトーチに人気が集中し、延べ 2,500人の市民が観覧しました。

補正予算などを可決

議会

第108回臨時市議会は11月14・15の両日間開かれ、「昭和43年度一般会計補正予算案」「市税の特例に関する条例案」などについて審議した結果、それぞれ原案どおり可決承認されました。

補正額は 705万 8 千円

補正予算は705万8千円が追加され、一般会計の予算総額は 13億3,625万円になりました。地方交付税・県支出金の歳入増によるもので、主な歳出は積寒通路(稲郷一森山)の工事、敷地購入費として

461万8千円、工場敷地の排水溝などの工事費が 297万円増となりました。

教育委員に 宇野(治)氏

公平委員に 桑野氏

教育委員宇野金作氏、公平委員宇野治一氏の辞任により、後任委員にそれぞれ宇野治一氏(明倫町)、桑野和夫氏(日吉町)を選任し、人権擁護委員松田境氏の任期満了による後任委員候補者に、細川勉氏(下唯野)を推薦することについて、議会の同意を得ました。

越美北線の廃止反対を議決

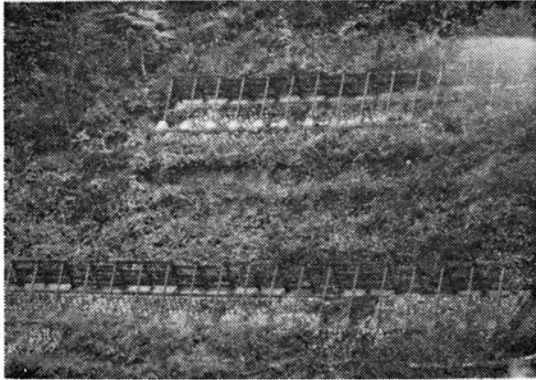
このほど国鉄は赤字路線を廃止して、

バス路線に切替える方針を打出してきましたが、この中には越美北線も三国線、越美南線などとともに含まれています。

このため、地域振興、公共福祉の見地から越美北線の廃止に反対し、越美南北線の全線貫通を各関係機関に強力に要望するもので「越美北線廃止反対並びに全線早期貫通促進」についての決議文を議決して、臨時議会を閉会しました。

(「風見鶏」に関連記事があります。)

なだれに備えて 危険個所を現地調査



勝原線を中心に、4時間にわたって地図と対照しながら、綿密な調査が行なわれました。

その結果、東勝原一上打波間で6カ所、上五条方一下若生子間で6カ所、下打波一嵐間で3カ所が早急に対策を必要とし、標止板の設置や通行制限などの応急処置をとるとともに予算編成期をむかえて、各関係機関に強く

11月7日、市では土木出張所・大野警察署・気象通報所と協力して、なだれ危険個所の現地調査を行ないました。

雪の季節を前にして、毎年行なわれているもので、なだれの多い国道157号線(唯野一湯上)・県道大野墨俣線・小池

森広氏に勲5等瑞宝章 市民に感謝 10万円を寄付

政府は11月3日付で秋の生存者叙勲を発表しましたが、市関係では前市長の森広治兵衛氏(平沢領家・70歳)が勲5等瑞宝章の荣誉に輝きました。

氏は旧上庄村長をはじめ大野市長(2期)を歴任、23年間にわたり地方自治に多大の功績をあげられました。

市長時代は農業構造改善事業や駅東区画整理事業など、都市基盤整備の推進と社会教育や文化施設の充実に意欲的に取り組みました。

氏は叙勲にあたり、「これまでの市民のご支援を謝し」市民にこの荣誉をわかちたいと、金10万円を市に寄付されました。

西氏には紺綬褒章 田野公民館の建設に尽力

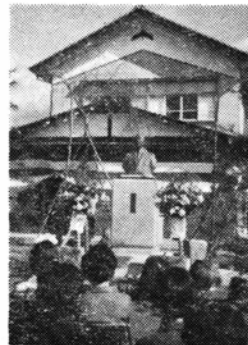
さきに、田野公民館建設資金として、市に450万円を寄付された田野出身の西守氏(神戸市在住・77歳)に対し、10月23日付で紺綬褒章が授与されました。

この授章伝達をかねて、11月10日公民館の落成式が、西氏をはじめ関係者、区民など150名が集まり盛大に行なわれました。

新しい公民館は木造2階建て延べ200

m²で、1階には会議室・大ホール(ステージ付・炊事室、2階には結婚式場にもなる和室広間があるりっぱなものです。

区民は長く感謝の気持を残すため、公民館前に西氏の胸像を立てました。



(完成した田野公民館)

なお、氏はこれまでも県西育英財団に対し、私財2,000万円を寄付され公共の福祉に尽されています。

スポーツ活動の普及をねらって

社会体育の実態調査

11月14・15日の2日間にわたって、文部省の「社会体育の実態調査」が順天堂大学斎藤助教授はかを迎えて行なわれました。この調査は、市民のスポーツへの参加意欲や体育団体の現状、施設の管理・運営など体育全般にわたって調査されるもので、こし初めて行なわれます。

14日には市内のスポーツ施設を視察し15日にはスポーツ団体の役員など20名を招いて面接調査が行なわれ、スポーツへの関心やクラブ活動の実態について話し合われました。これらを総合して、社会体育のあり方や市民の望んでいる施策を検討し、スポーツ活動の普及に役立てることをねらいとしています。結果は来年

予算計上を要請することになりました。

これまでの調査をもとに、現在五箇地区の県道で3カ所、唯野西勝原地係の国道各1カ所の合計5カ所で(西勝原は完了)、なだれ止めや防止林の工事が行なわれており、雪が降るまでには完了します。これからも危険度の高い個所から順次改良が加えられます。

なお、県道上五条方一下若生子間は積雪期間中は、例年のように若生子坂(下若生子一森山)を利用されるよう関係機関では望んでいます。

(写真 これまでの調査をもとに、今年完成したなだれ止め 西勝原にて)

12月中には校舎完成

高校定時制課程昼間部

この春開設された大野高等学校定時制課程昼間部(生徒数45名)は、これまで大野高校の教室を借りうけて、不自由な間借り授業を行なってきましたが、このほど1,400万円を投じて新しい校舎の建設に着手し、12月完成を目途に工事は急ピッチで進められています。

校舎は大野高校体育館南側に建設されるもので、木造2階建ラス張りモルタル塗り、延面積885.53m²です。

1階は教員室・給食室・食堂兼小講堂で2階は普通教室4室からなっています。

これが完成しますと、定時制課程も独立した校舎を持つことになり、昭和44年春からは午前部、午後部にわかれ、夜間部とあわせて1日3部制の授業が行なわれ、募集人員も90名となる予定です。



(写真 スポーツ活動の面接調査)

郷土芸能に感嘆の声

みのつてきた総合文化祭



秋晴れにめぐまれた11月2・3の両日、市総合文化祭が市民会館で盛大に開かれました。総合文化祭としては、ことしで2回目ですが、その内容が充実してきたことが関心を集め、延べ8,000人の市民が秋晴れのもと文化のかおりに親しみました。

展示部門では作品数が600点にのぼり積極的な市民参加と作品の全体的なレベル・アップがみられました。とくに一般市民の出品が多く、日頃の努力の跡がしのばれました。

一方、演劇部門では上若生子保存会による「扇おどり」に、愛惜の拍手がおしなく送られました。若生子は真名川ダム建設に伴い全戸の水没が予定されているため、区民とぞっての演舞は、これが最後になるかもしれません。それだけに、どこか哀調をおびた踊りは市民に深

い感銘を与えました。

また明治100年記念行事と銘うつ文化祭だけに有終中学校ブラスバンドによる「なつかしのメロディー」は、バトンガールのバトンプレーと、ともになつかしい歌、新しい歌をおりませ、観客と舞台のあいだに手拍子と合唱の交換があって、なごやかなふんいきが流れ

スマイル

「年賀ハガキ」

ごくろうさまです

一郵便番号

差し出し人殿

コーナ

体力づくりは歩行から

歩行大会に400人

もっとも手近かな歩行によって、健康で明朗な人格をつくろうと、体力づくり国民会議の提唱による歩行運動大野地区大会が、11月10日小、中学生・スポーツ少年団・一般市民など400人が参加して行なわれました。

8時半市役所前に集合し、ラジオ体操のあと2班にわかれて亀山山頂と市民会館めぐりして出発しました。

まわりの山波はうっすら雪化粧して、

ていました。

「たたかい」と題する影絵のパントマイムは、新鮮味がかわれて好評を博し、ソロで流れるピアノソナタは観客席を魅了しました。

このような催しが、これからの新しい大野の文化をはぐくむよう、市民そろって声援をおくり、なかでも郷土に伝わる古い芸能は年々失われていくだけに、市民の手で大切に保存し、伝承していきたいものです。

(写真は好評だった「なつかしのメロディー」の一コマ)

さわやかな秋晴れのなかを、ご老人も元気一ぱい、なごやかな大会でした。

亀山山頂ではお城を見学、みんなで健康の喜びをかみしめながら大会をおわりました。(写真 元気に出発する参加者)



飲酒運転追放県民運動

12月1日から12月31日まで

みんなで飲酒運転をなくしましょう

ママさんチーム大奮闘

農家の主婦を対象に開かれている主婦農業学校のバレーボール大会が、11月12日有終西小学校講堂で、6チームが参加して行なわれました。日頃、農業や家事に忙しくスポーツに親しむ機会の少ないママさんですが、ご主人や同僚の声援をうけて、なごやかなうちに活発なプレーがみられました。

大奮闘の結果、荒島学校(富田、阪谷地区)が2対1の接戦の末、上庄学校を破って、みごと優勝しました。

主婦農業学校は、年々機械化され高度化していく農業技術を、視察や実習をとおして主婦にも修得してもらおうと、市や農協が主体となって毎年開かれています。

入校手続については農務課へお問い合わせください。

大野の歴史②4

武田耕雲斎は、幕末の剛直誠忠の水戸藩士である。徳川斉昭に信頼されてついに水戸藩家老に昇進した。

元治元年(1864)尊王攘夷論の同志藤田小四郎の挙兵を援助し、同志数百名をひきいて京都にのぼり素志をとげよう企てたが、幕府の命によって諸藩の制圧はきびしく、木曾路を通過して厳冬の12月4日はえはし峠を越えて大野領にはいった。

一行を阻止せよとの幕命を受けた大野藩は、秋生・中島・笹又の山村の家屋を焼き、笹生川と雲川の橋を落としたり笹又峠を警固した。

水戸浪士の大野藩領通過

降りしきる風雪の中を水戸浪士の一行は、下秋生の石田家を本陣として酷寒の中に野営し、翌5日に中島着。6日には笹又峠を越えて木本村に入り杉本家を本陣とした。

藩命によって布川源兵衛らは武田耕雲斎らと面接して、誠意をこめて説得し、大野町を避けて池田から今庄に出ることとなったのである。

一行296名は新保で加賀藩に降服。耕雲斎は慶応元年(1865)2月4日極刑に処せられた。享年63、のち誠忠は世にあらわれて正四位を贈られ松原神社(敦賀)にまつられた。

市民年賀会の申し込み

と き 昭和44年1月1日 午前10時
と ころ 市民会館大会議室
会 費 120円
(申し込みと同時に納めてください。)
締 切 12月20日 (金)
申し込み先 総務課庶務係
式典のあと、邦楽の演奏を行ないます。

大野城の閉館お知らせ

12月1日～3月下旬の冬期間は閉館します。来春は雪どけを待って開館の予定です。しばらくお待ちください。

歴史館からのお願い

郷土歴史館はわたしたちの祖先の生活を市民の皆さんに知っていただくため、民具や民芸品・古文書などを集めて展示しています。

現在、多くの市民から寄せられた500点余りの資料が展示されていますが、あなたの家にも、もし昔の生活をしのばせる貴重な書類や品物がありましたら、歴史館へご寄贈ください。 電話6-0238

伊勢神宮奉仕団員募集



伊勢神宮林での造林奉仕、育林研修が次のとおり行なわれます。多数ご参加ください。

と き 第2班 2月15日～19日
第3班 2月19日～23日
第5班 2月28日～3月4日

第6班 3月4日～3月8日
(1、4、7班は満員です)

費 用 内宮までの往復旅費は各自負担
持参品 米2升2合、作業服など。
締 切 12月10日までに市林務課へ
なお、詳細については林務課へお尋ねください。

年末調整のための簡易保険払込み証明書を請求されるときは、保険証書と領収帖(団体払込みの場合は不要)を持参のうえ、郵便局へおいでください。

(郵便局保険課)

自 衛 官 募 集

応募資格 18歳～24歳の男子
採用試験 常時(本人のつごうのよい日)
入 隊 毎月末
待 遇 衣・食・住のほか賞与が年3回支給されます。実質給与は月額35,000円程度になります。
申し込みと問い合わせ先
市総務課 庶務係

「家庭の日」のテーマ

「一年をかえりみ、
しあわせな家庭をよこぼう」
12月15日は家庭の日です。ことしもあとなずか、家族そろって、この1年をふりかえってみましょう。

市職員 38名を異動

人事

11月1日付で課長8名を含む38名の人事が発令されました。

今回の異動は国体の終了に伴うものであり、今まで総務課が担当してきた広報

人権を守りましょう



12月は国際人権年が制定されたことを記念する「人権月間」です。

私たちが生きていくために、一番大切な自由や権利は基本的人権として、お互いに尊重されなければなりません。

人権に関するところで困りの方

わからないことは人権擁護委員が法務局へご相談ください。いつでも無料でみなさまのご相談にお答えします。

法務局 城町 TEL 6-2249

<人権擁護委員> 石田伊太郎 泉町 TEL 6-2361・滝本栄 城町 TEL 6-2399・松田操 下掘 TEL 6-4704・松田境 森目 TEL 6-4146・田中さとゑ 中荒井

関係の仕事は企画室に移管されました。

係長以上の異動は次のとおりです。

(カッコ内は旧)

△企画室主幹野崎四郎(社会教育課長)
△建設課長松田孝信(企画室主幹) △保険衛生課長中村年松(乾側公民館長) △農務課土地改良係長石塚一男(工務係長) △林務課林務係長田中恵(都市計画係長) △保険衛生課環境衛生係長松本才市(国体課庶務係長) △建設課都市計画係長堂本悟(土地改良係長) △建設課工務係長金巻啓一(林務係長) △総務課付西島俊夫(建設課長) △宮川忍(市民課) △大野公民館長日下健太(体育課長) △社会教育課長松田樵(保険衛生課長) △体育課長斎藤輝夫(体育課主幹) △乾側公民館長佐々木徳(保険衛生課環境衛生係長)

係からのお願い

市政や市報に関するご意見ご批評を企画室広報係までお寄せください。

の意欲に燃えているのだ。国鉄の一大善処を望んでやまない。

幾多の有形、無形の恩恵を贈ってくれていく越美北線になぜ魔線のラク印を押すのか。赤字なるがゆえに、保護育成の必要がある。しかもわれわれは郷土建設の意欲に燃えているのだ。国鉄の一大善処を望んでやまない。

「待望の越美北線開通式、旗・旗・旗、人・人・人」の見出しに続いて、「あたかもこの日を祝うかのように奇跡的な好天に恵まれ市内の各駅は観衆の旗波で埋められた。この日十一時四十四分祝賀列車の越前大野駅到着とともに、四十年来の市民の夢は見事に結集した。……」

「市政大野」にはおよそ次のように紙面「一ぱいに写真入りで喜びを報じている。『待望の越美北線開通式、旗・旗・旗、人・人・人』の見出しに続いて、『あたかもこの日を祝うかのように奇跡的な好天に恵まれ市内の各駅は観衆の旗波で埋められた。この日十一時四十四分祝賀列車の越前大野駅到着とともに、四十年来の市民の夢は見事に結集した。……』」

「市政大野」にはおよそ次のように紙面「一ぱいに写真入りで喜びを報じている。『待望の越美北線開通式、旗・旗・旗、人・人・人』の見出しに続いて、『あたかもこの日を祝うかのように奇跡的な好天に恵まれ市内の各駅は観衆の旗波で埋められた。この日十一時四十四分祝賀列車の越前大野駅到着とともに、四十年来の市民の夢は見事に結集した。……』」

「市政大野」にはおよそ次のように紙面「一ぱいに写真入りで喜びを報じている。『待望の越美北線開通式、旗・旗・旗、人・人・人』の見出しに続いて、『あたかもこの日を祝うかのように奇跡的な好天に恵まれ市内の各駅は観衆の旗波で埋められた。この日十一時四十四分祝賀列車の越前大野駅到着とともに、四十年来の市民の夢は見事に結集した。……』」

「市政大野」にはおよそ次のように紙面「一ぱいに写真入りで喜びを報じている。『待望の越美北線開通式、旗・旗・旗、人・人・人』の見出しに続いて、『あたかもこの日を祝うかのように奇跡的な好天に恵まれ市内の各駅は観衆の旗波で埋められた。この日十一時四十四分祝賀列車の越前大野駅到着とともに、四十年来の市民の夢は見事に結集した。……』」



国鉄赤字路線廃止案

八十三路線の中にも越美北線福井・勝原間も含まれている。そして独自採算制を確立するた